道徳科における評価の見方の例

【別紙８】

（明朝体：「学習指導要領解説　特別の教科　道徳編」より）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 視点 | 視点の例　（　　）は中学校 | 見方の例 |
| 　　一面的な見方から多面的・多角的な　　見方へと発展させているか | **Ｔ-１** | 道徳的価値に関わる問題に対する判断の根拠やそのときの心情を様々な視点から捉え考えようとしている。 | ・ねらいとする道徳的価値をさまざまな面で考えている。 |
| ・道徳的価値を支える様々な根拠を考えている。 |
| ・様々な登場人物の立場で考えている。 |
| ・時間の経過とともに変化する気持ちを考えている。 |
|  |
| **Ｔ-２** | 自分と違う立場や感じ方，考え方を理解しようとしている。 | ・自分の考えと友達の考えを比べて考えている。 |
| ・自分とは違う友達の考えを大切にしながら考えている。 |
|  |
| **Ｔ-３** | 複数の道徳的価値の対立が生じる場面において取り得る行動を（広い視野から）多面的・多角的に考えようとしている。 | ・人間の強さや弱さ等を捉えて考えている。 |
| ・取り得る方法を，一つだけにこだわらず，複数考えている。 |
|  |
|  |
| 　　道徳的価値の理解を　　自分自身の関わりの中で深めているか | **Ｊ-１** | 読み物教材の登場人物を自分に置き換えて考え，自分なりに具体的にイメージして理解しようとしている。 | ・教材の登場人物に自分を置き換えて考えている。 |
| ・教材の問題点等を自分事として受け止めて考えている。 |
|  |
|  |
| **Ｊ-２** | 現在の自分自身を振り返り，自らの行動や考えを見直している。 | ・日常生活や学校生活等を想起しながら考えている。 |
| ・自分の生活を見つめ，振り返りながら考えている。 |
|  |
| **Ｊ-３** | 道徳的な問題に対して自己の取り得る行動を他者と議論する中で，道徳的価値の理解を更に深めている。 | ・話し合いを通して，自分だったらどうするかなど考えている。 |
| ・話し合いを通して，友達の考えのよさを取り入れながら考えている。 |
| ・話し合いを通して，自分の考えを見直しながらもう一度考えている。 |
|  |
| **Ｊ-４** | 道徳的価値の実現することの難しさを自分のこととして捉え，考えようとしている。 | ・自分だったらどうするかなど考えている。 |
| ・自分の経験を想起しながら考えている。 |
| ・自分の弱さを見つめながら，考えている。 |
|  |
| 発言・記述以外の児童生徒の姿　＊１ | 発言が多くない児童生徒や考えたことを文章に記述することが苦手な児童生徒が，教師や他の児童生徒の発言に聞き入ったり，考えを深めようとしたりしている。 | ・話す相手を見ながらじっと聞いている。 |
| ・うなずいたり，反応したりしながら聞いている。 |
| ・ペアやグループで，自分から発言している。 |
|  |
|  |
| 一定の期間を経て成長した姿 ＊２ | 当初は感想文や質問紙に，感想をそのまま書いただけであった児童生徒が，学習を重ねていく中で，読み物教材の登場人物に共感したり，自分なりに考えを深めた内容を書くようになったりする。また，既習の内容と関連付けて考えている。 | ・友達の考えを取り入れながら，考えるようになった。 |
| ・自分の経験を振り返りながら，考えるようになった。 |
| ・既習の内容を思い出しながら考えるようになった。 |
| ・登場人物について，今までより深く考えるようになった。 |
| ・発言や記述の量が多くなった。 |
|  |
|  |

＊１　発言・記述以外の児童生徒の姿：発言や記述ではない形で表出する児童生徒の姿

＊２　一定の期間を経て成長した姿：１単位時間の授業だけでなく児童生徒の一定の期間を経て，多面的・多角的な見方へと発展していたり，道徳的価値の理解が深まったりしている姿